

第六次 吉見町 総合振興計画

概要版

第六次吉見町総合振興計画を策定しました!

? そうごうしんこうけいかく
そもそも「総合振興計画」ってなに?

A 総合振興計画は、これから10年間、吉見町がどんなまちづくりを進めていくかをまとめた大切な計画です。

? みんな読んでいるの?

A 実は、あんまり読まれていないというか、ほとんど読まないかもしれない…。でも本当は、みんなで吉見町をより良くしていくために、読んで、いろいろ考えて、話し合っしてほしいと思っています。この概要版も、本体の計画冊子も、できるだけ分かりやすく作ったので、興味があるところだけでも読んでください。

町長の想い

第六次吉見町総合振興計画の策定にあたって

令和3年3月 吉見町長 宮崎 善雄



いま私たち一人ひとりが、大きな時代の転換点に立っています。直面している様々な課題の解決に取り組みながら、同時に、未来への責任を果たす行動を求められています。

厳しい現実「もう駄目だ・・・」と諦めてしまいそうな気持ちをぐっとこらえ、それぞれの立場でできることを一つひとつ積み重ね、未来に向けて、みんなで考え、工夫し、力を合わせていかななくてはなりません。

この計画には、一つひとつの課題や可能性と丁寧に向き合い、みんなが安心を感じられ、次の世代が「未来を引き継ぎたい」と思えるまちづくりを進めていこうという想いがこめられています。

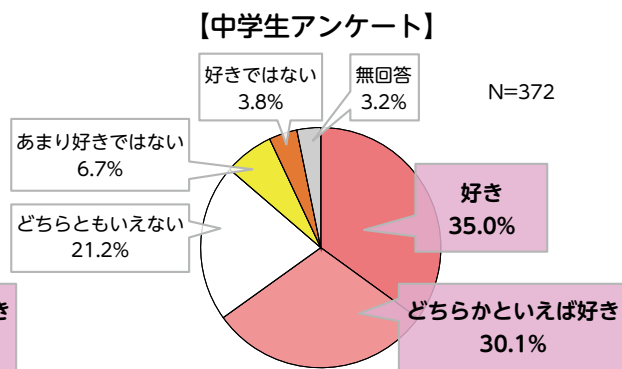
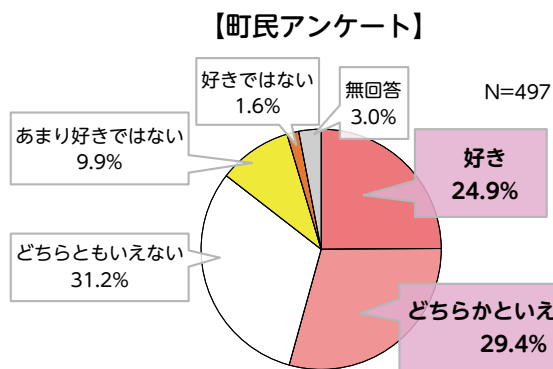
いつの日か過去を振り返ったとき、「あのとき考えたから——工夫したから、頑張ったから——これを実現できた」とみんなで笑い合えるように、まずは今から10年、みんなで未来に向けて足元から取組を進めていきましょう。

結びに、計画の策定にあたり、ご協力いただいた町議会をはじめ、多くの町民の皆さま、コロナ禍にもかかわらず活発かつ慎重にご審議いただいた総合振興計画審議会委員の皆さまに、心から感謝申し上げます。

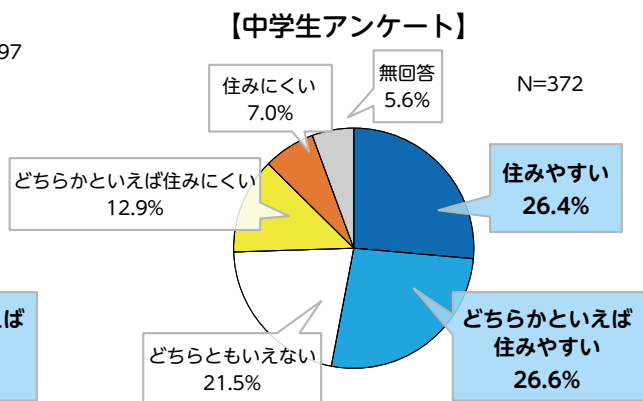
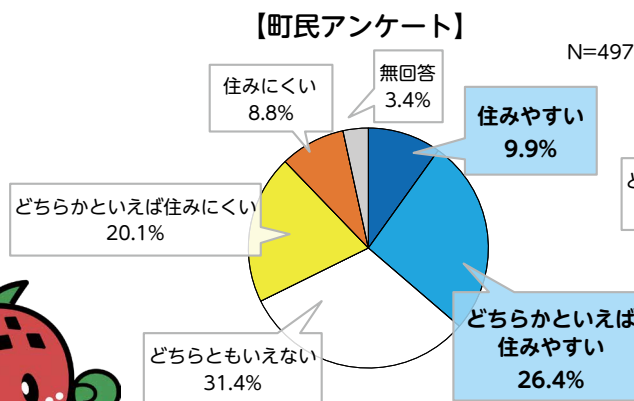
みんなの想い

〈アンケート（町民、中学生、事業者）の集計結果を抜粋表示〉

■吉見町のことが好きですか



■吉見町を住みやすいまちだと思いますか



大人よりも中学生の方が高評価!
「住みやすい」とは思わないけど「好き」と感じている人もいるんだね。

吉見町について、こんな意見がありました。〈一部抜粋〉

まちづくりアンケート

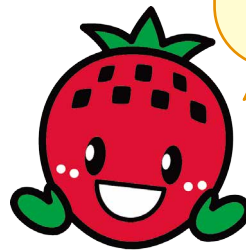
- ・日々の買い物に便利な商業施設が身近にほしい
- ・公共交通や移動手段が充実してほしい
- ・若い世代が生活のしやすさを感じられるようになってほしい
- ・街灯を整備して夜間の安全安心を
- ・自然災害に強いまちづくりが必要
- ・子どもの声が聞こえる元気なまちに
- ・子どもや高齢者にやさしいまちに
- ・吉見町の強みは、人のつながりが強いところ
- ・緑と田園風景は変わらずにいてほしい

中学生アンケート

- ・地域の人たちが温かい、やさしい
- ・歴史や文化を感じられる場所がある
- ・大きな災害が少ない
- ・イチゴがおいしい
- ・自然が多くて良いけど、少し不便
- ・駅がほしい
- ・自転車で走りやすく、きれいな道路の整備
- ・ショッピングモールがほしい
- ・休日、遊びに行きたい時に町内で遊べる場所
- ・一人ひとりにいきとどいた教育

事業者アンケート

- ・人材確保に苦勞しており、人材に関する情報がほしい
- ・町外から来る人たちの交通利便性を向上させてほしい
- ・事務所や倉庫、工場を増設する際に利用できる商業用工業用の区画が町内に必要
- ・県道4車線化に合わせた地域活性化のための新事業、新施設を検討してほしい



いろいろな意見、考え、想いがあるね。

まちづくりワークショップ

- ・子どもがいると地域が明るくなる
- ・田んぼが広がる風景がいい
- ・伝統や文化と、新しいものの融合
- ・きちんとあいさつができる子どもたち
- ・関越道、圏央道をいかした企業誘致
- ・(出て行ってしまうのはさみしいが) 世界に羽ばたく子どもたちは町の誇り
- ・広々とした住環境
- ・緑が多くて癒される
- ・吉見は人材の宝庫
- ・どこにも負けない吉見いちご
- ・様々な年代が一緒に楽しめるイベント

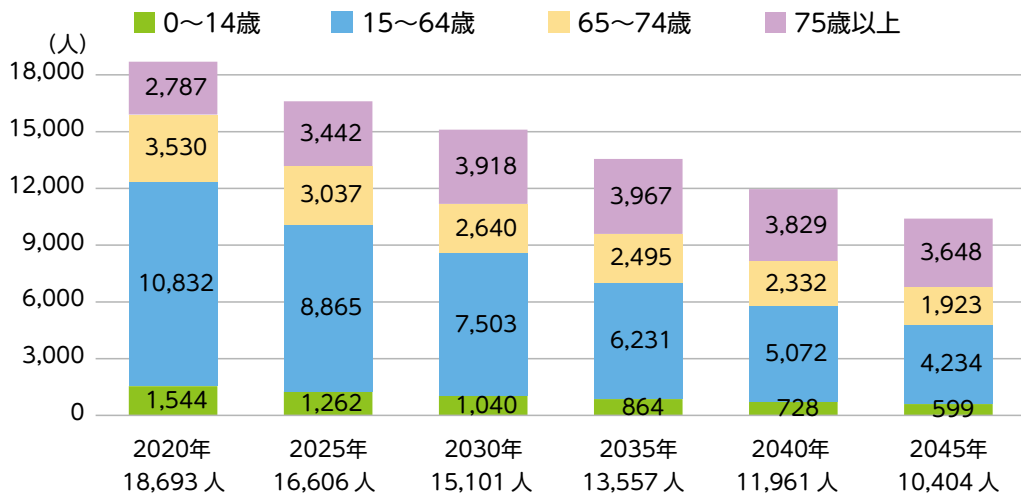


吉見町の人口推移

人口、経済、社会保障などの調査研究を行う「国立社会保障・人口問題研究所」(社人研)は、5年に1度実施する国勢調査の結果に基づいて、全国の自治体の予測人口を公表しています。2020年国勢調査に基づく予測はまだ公表されていないため、2015年予測を用いて、今後の町の人口推移を想定しました。

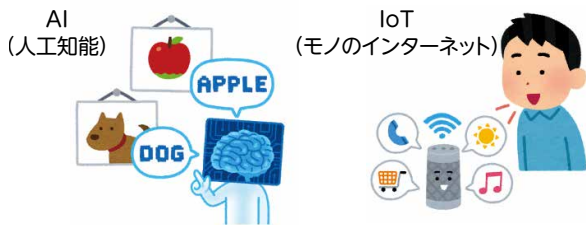
■吉見町の人口と年齢構成の推移

社人研「2015予測」に基づく年齢構成の推移



様々な変化

■便利な技術の出現と普及



■自然や環境の変化



■人々の意識(価値観)の変化



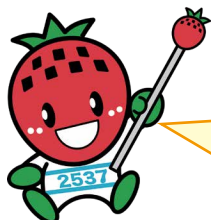
■経済を取り巻く変化



■SDGs (持続可能な社会の実現)



様々な変化が2030年以降も続くことを見据えて、10年後を「ゴール」ではなく、20年先への「通過点」という考え方で、まちづくりに取り組んでいくよ。



❓ 人口減少や少子高齢化が進むなかで、「より良いまちづくり」なんてできるの？

現在
18,693人





10年後
約 15,000人




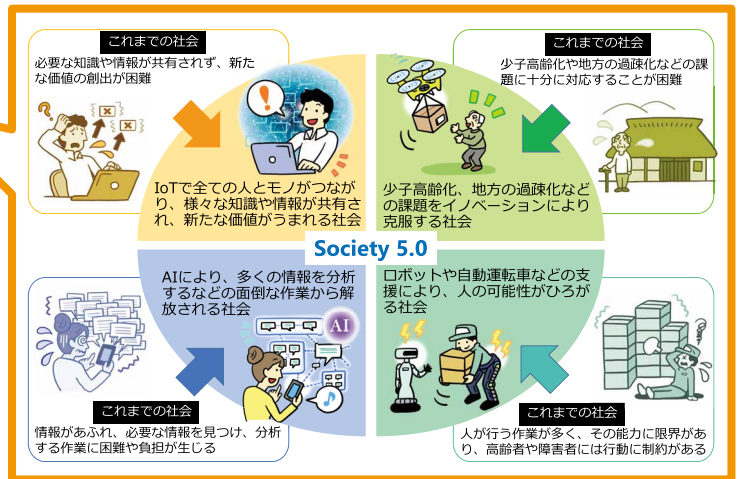
20年後
約 12,000人



💡 左の図は、より良いまちにしていくために活動する人（）が増え、その人たちを応援する人が増えていくことで、人口規模が縮小しても、より良いまちづくりや快適な暮らしが可能になっていくイメージ図です。みんなで考え、工夫し、一人ひとりができることに今から取り組んでいくことで、「より良いまちづくり」はきっと実現できます。

 吉見町の人口規模

 より良いまちにしていくために活動している人



これからは、すべて人の力でやろうとするのではなく、便利な技術を活用する発想も大切になってきます！



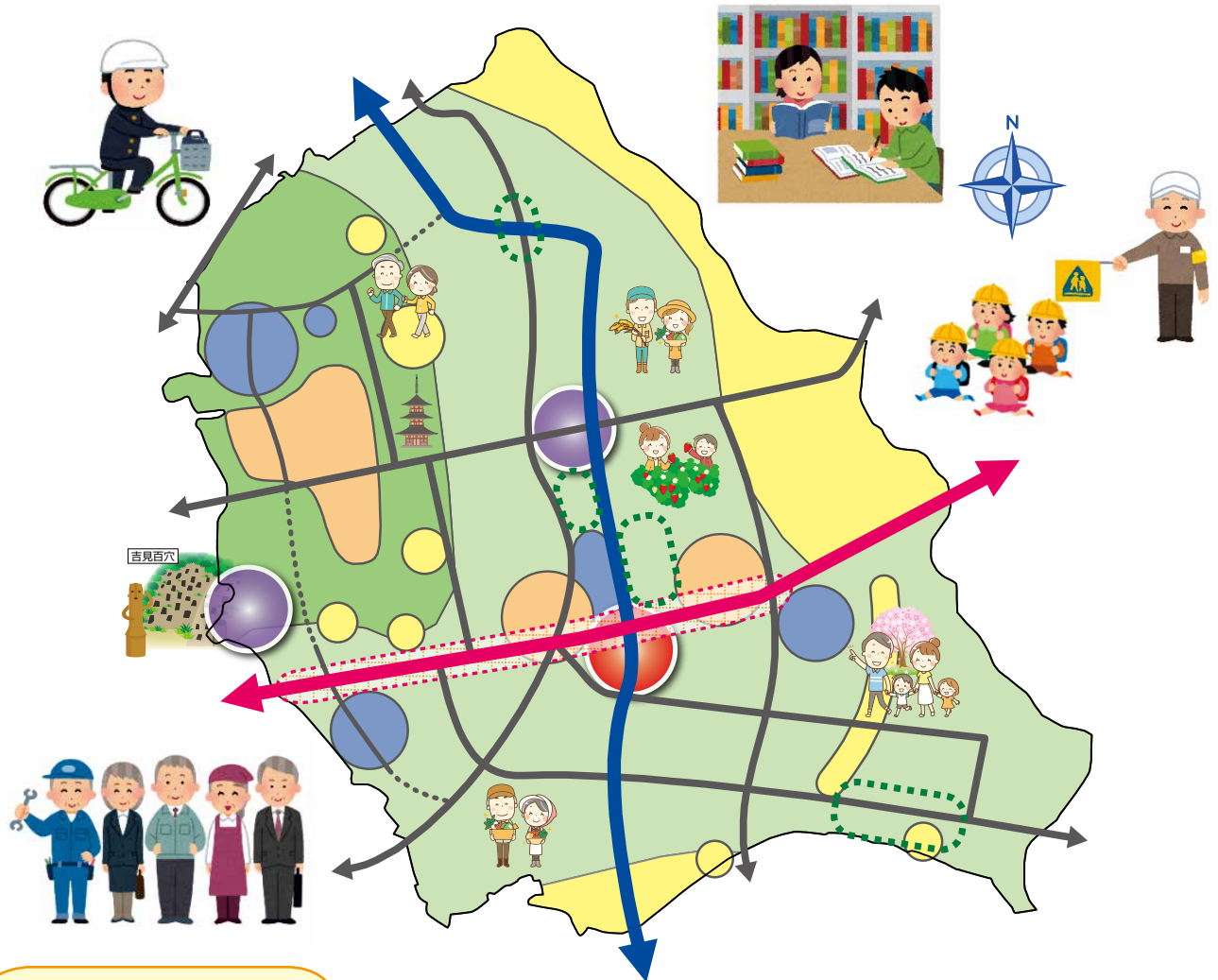
 **これだけは押さえよう！**

「大きく・多く」にこだわらず、「より良く」を目指しましょう

未来地図

—土地に、人の生活・想いを重ね合わせる—

人口が減少しても、土地の広さは変わりません。充実したまちづくりや、より快適な暮らしの実現に向けて、従来の土地利用に、人の生活や「守りたい」「育てたい」という町民の想いを重ね合わせ、将来を見据えたまちの基盤・環境づくりの方向性（意思）が見える化したものが『未来地図』です。



10年後、20年後、吉見町のどこで、誰が、何をしているか・・・
皆さんの「未来地図」を考えてみましょう!

凡例		
東西の基軸 (4車線道路)	産業交流拠点	住居系ゾーン
南北の基軸 (主要幹線道路)	文化・まちおこし拠点	農業系ゾーン
幹線道路	沿道活性化ゾーン	工業系ゾーン
計画道路	活用検討エリア	スポーツ・レクリエーション系ゾーン
		緑地系ゾーン

町民の想い・・・	
守りたいもの	育てたいもの
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然、のどかな田園風景 ・特産品の吉見いちご ・一人ひとりの健康 ・歴史や文化を感じられる場所 ・地域のお祭り、など 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたち ・身近で買い物ができる商業施設 ・誰でも気軽に集まれる居場所 ・町外から人を呼び込める場所や施設 ・生きがいを感じられる仕事、など

将来像

未来へつなぐ
みんなで 安心して暮らせるまち よしみ

— 20年先への種まき —



ここには
「考える」、「つくる」、「助け合う」
など、様々な言葉が入るよ

〈将来像には、こんな想いがこめられています〉

- ・人口減少や少子高齢化が進行するなかでも、一人ひとりが未来に希望を持てるまちにしよう。
- ・自然や田園風景、人と人のつながり、伝統や文化など、大切にしてきたものを未来につなげていこう。
- ・便利さや物質的な豊かさはもちろん、お金では測れない安全や安心、心の豊かさも大切にしていこう。
- ・10年後のゴールではなく、10年後からスタートするまちづくりを見据えて、子どもや孫たちの世代のために、今から種をまいていこう。

などなど

まちづくりの指標

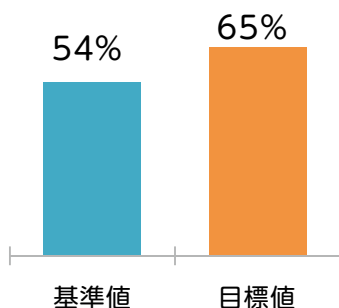
これからのまちづくりが、実際に将来像へと近づいているのかを確認するため、将来の吉見町に住む町民のみなさんの評価「好き」、「住みやすい」、「住み続けたい」をまちづくりの指標にします。

ポイントは「10年間、何をどれだけやったか」ではなく、「それらの取組をした町を、10年後、人がどう感じるか」という基準でまちづくりを測ることで。

———3つの指標(基準値と10年後の目標値)———

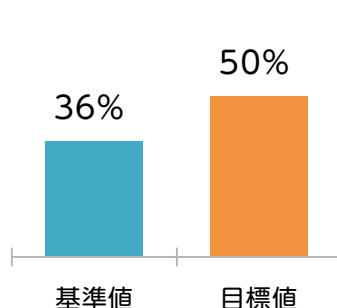
● 吉見町のことが好き

吉見町が好きだと感じている町民の割合は、現状から約10ポイントの向上を目指します。



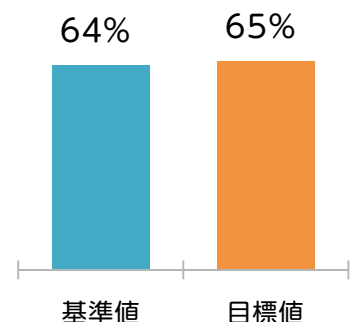
● 吉見町は住みやすい

住みやすいと感じている町民の割合は、50%水準を目指します。



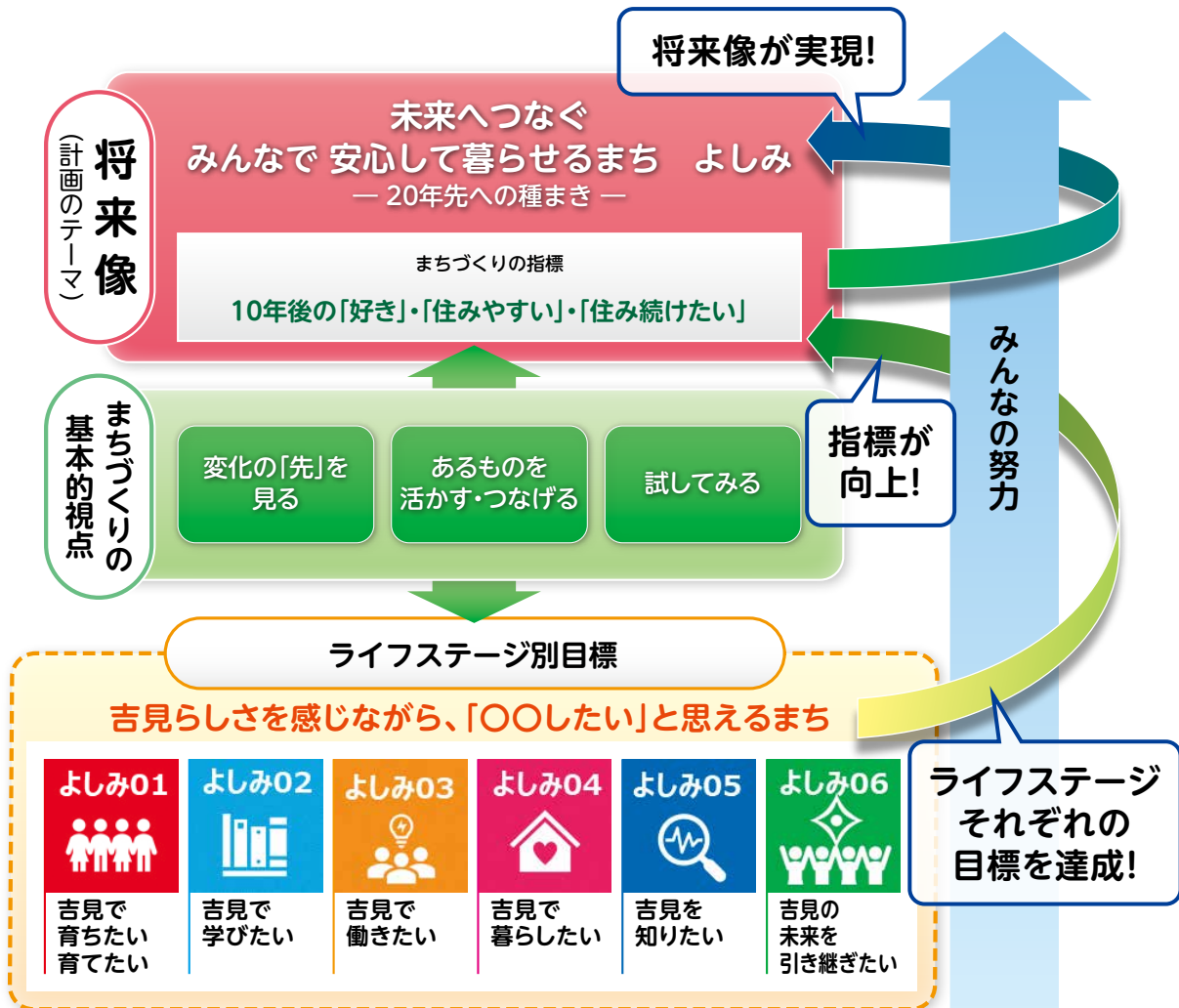
● 吉見町に住み続けたい

住み続けたいと思っている町民の割合は、現状維持を目指します。



ライフステージ別目標

いきなり『将来像』を実現したり、「好き」、「住みやすい」、「住み続けたい」を向上させたりするのは大変です。そこで、一人ひとりが「〇〇したい」と思えるようになることを目標とする6つのライフステージを設定して、一つひとつ未来への種をまいて取組を進めていけるようにしました。



? 「まちづくりの基本的視点」って何?

🔦 様々なまちづくりの取組・活動を進めていく上で、みんなで意識したいポイントです。

変化の「先」を見る

社会や時代は、じっと待ってくれません。対策を考えている間にも、どんどん変化していきます。これまでと今の違いだけでなく、10年後は何が変わるのか、20年先はどうなっていくのか、今起きている変化の「先」に目を向けてみましょう。

あるものを活かす・つなげる

島根県の海士町(あまちょう)は、「ないものはない」を宣言し、あるものを磨く独自のまちづくりで地方創生のトップランナーになりました。気付いていないだけで、未来につながる個性や魅力の種を、私たちはもう手にしているかもしれません。

試してみる

どれほど良さそうに思えるアイデアも、本当に思ったとおりの結果につながるかは、誰にも分かりません。やってみる、やめてみる、増やしてみる、減らしてみる…など、実際に試すことで、初めて分かることがあります。

よしみ01



よしみライフステージ 01
「育ちたい・育てたい」と思えるまち

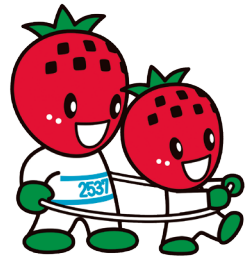
めざす姿

・まちの将来を担う大切な「よしみっ子」たちが楽しみながら育っている

みんなができること

試してみよう！

- 妊娠中の人や乳幼児を連れた人を思いやる
- 子どもの手本になるような行動・振る舞いをする
- 子どもが事故や犯罪に巻き込まれないよう、子どもたちの登下校を見守る
- 子どもたちと一緒にいろいろな楽しむ
- 元気にあいさつをする



行政も一緒に
取り組みます

結婚・妊娠・出産の支援、母子保健や医療制度の普及・啓発、子育ての支援、不安や悩みの軽減に向けた取組

よしみ02



よしみライフステージ 02
「学びたい」と思えるまち

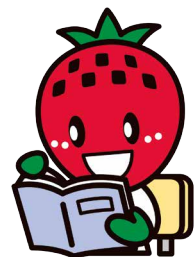
めざす姿

- ・子どもたちが夢の実現に向けて充実した学校生活を送っている
- ・いつでも、どこでも、誰でも、様々な学びができ、活躍している

みんなができること

試してみよう！

- 夢の実現に向けて頑張る子どもたちを応援する
- 子どもたちが多様な経験・実体験をできるように支援する
- 家族や友人と一緒に文化活動やスポーツ活動などを楽しむ
- 自分が学んだ知識や身に付けた技能を誰かに教える
- 使った施設や場所をきれいにする



行政も一緒に
取り組みます

学校教育、学びやスポーツの「場」の提供、生涯学習活動の支援

よしみ03



よしみライフステージ 03 「働きたい」と思えるまち

めざす姿

- ・一人ひとりの生活や個性に合った多様な働き方をしている
- ・地域資源を活かした産業に活力が生まれている

みんなができること

試してみよう！

- 地域のお店で買い物をしたり、吉見町産の食材を食べたりする
- 町内の事業者や企業について、興味を持って調べてみる
- 仕事で分からないことや悩みなどがあったら、誰かに相談する



行政も一緒に 取り組みます

多様な就労の創出と雇用の促進、農地の有効活用、町内企業の支援、観光振興

よしみ04



よしみライフステージ 04 「暮らしたい」と思えるまち

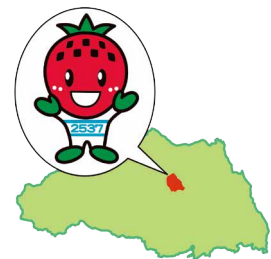
めざす姿

- ・安全安心な環境で、快適な生活を送っている
- ・自助・共助・公助によって助け合いながら暮らしている
- ・心身ともに健康で、自分らしい生活を続けている

みんなができること

試してみよう！

- 避難袋や備蓄品を準備したり、避難場所や経路を確認したりする
- 普段から近所の人とあいさつを交わし、地域の活動に参加する
- 健康のために歩いたり、健診や検診を積極的に受けたりする
- リサイクルを心がけたり、ごみをきちんと分別して捨てたりする
- 家の周りの草刈りや水路の清掃など、身近な美化活動をする
- 水を大切に使い、下水に油や異物を流さないようにする
- 高齢者や障がいのある人の立場に立って考える



行政も一緒に 取り組みます

暮らしやすい環境づくり、病気の予防と健康長寿の支援、障がいのある人への支援、助け合いと仲間づくり、防災や防犯対策

よしみ05


 よしみライフステージ 05
 「知りたい」と思えるまち

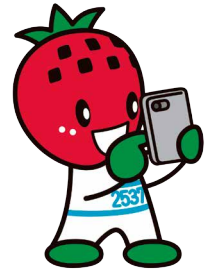
めざす姿

- ・町の魅力が多くの人に伝わり、関心を持つ人、応援してくれる人が増えている

みんなができること

試してみよう！

- 暮らしのなかで町の魅力を発見したら、誰かに話してみる
- おもしろいと感じたものや役に立つと思った町の情報を SNS などで発信する
- 興味を持ったこと、気になることは、誰かに聞いてみる
- 頑張っている人や団体を応援する


 行政も一緒に
 取り組みます

誰もが参加できるまちづくりに対する取組、町内外に向けた町の PR、ふるさと納税の活用、情報の活用とセキュリティ対策

よしみ06


 よしみライフステージ 06
 「未来を引き継ぎたい」と思えるまち

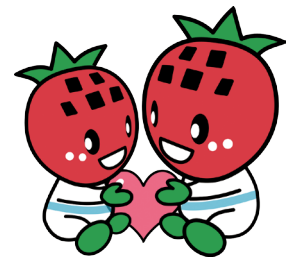
めざす姿

- ・まちの将来を「自分ごと」と捉えまちづくりに参加している
- ・自然や文化を大切に守り、みんなで未来へのまちづくりをしている

みんなができること

試してみよう！

- 豊かな自然やのどかな田園風景を見て、感じて、楽しむ
- 住んでいる地域の歴史や文化に、興味を持つ
- 自分が知っている地域の歴史や文化、技術などを、次の世代に伝える
- 「本当に大切なもの」を考える
- 自分にできることを見つけて、やってみる


 行政も一緒に
 取り組みます

未来に向けた取組、歴史や文化の継承、人権の尊重と平和意識の向上、効率的な行財政運営

「まちづくりなんて関係ない」と 思っているあなたへ



まちづくりは行政でうまくやってよ。



もちろん、役場の職員も頑張ります!

でも、少子高齢化や人口減少に加えて、異常気象に伴う災害や新型コロナウイルス感染症など、今までにない問題も現れてきました。吉見町に住んでいる人の暮らしも多様化し、一人ひとりの様々な想い(〇〇したい)を、行政の対応力だけに頼って実現していくまちづくりには、限界が見えています。



まちづくりができるような資格や能力なんてないよ。



まちづくりに参加するのに、資格や特別な能力は必要ありません。年齢も関係ありません。どんな人でも、興味のあること、好きなこと、得意なことがあるはずです。それらを活かして周囲の誰かを今よりちょっと幸せにする、それが町の様々な場所で起こるとしたら、「吉見町は良いまちだ」と思いませんか?



幸せや価値観って、人それぞれでしょ?



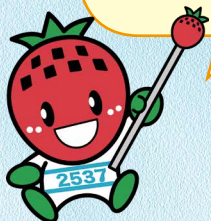
個人の幸せや価値観は、それぞれ違うかもしれません。時代や地域によって変わることもあると思います。でも、様々な調査から、吉見町に暮らす人たちに共通する想いや願いがありそうだということも分かってきました。第六次吉見町総合振興計画は、吉見らしさを感じる暮らし、吉見町ならではの幸せを実現していくという視点で整理しています。



これだけは押さえよう!

自分自身で、家族や友だち、地域の人たちと
これからの吉見町について考えたり、話したりすること
未来のために何かをやること、すべてが『まちづくり』です

『まちづくり』に興味があった
あなたは、第六次吉見町総合振興計画の
本体冊子や、気になる分野の
計画書も読んでみよう!



第六次吉見町総合振興計画 (概要版)

発行 令和3年3月

発行者 吉見町

〒355-0192 埼玉県比企郡吉見町下細谷 411

TEL: 0493-54-1511 FAX: 0493-54-4200